壹岐名勝圖誌

布氣

二十一

和書門 類 二九三九九 號 二二六 函 六 架 二五 冊

内閣文庫 和書 類 二九三九九 號 二五 函 一四 冊

内 一一〇六八號

内閣文庫
番號 和 29399
冊數 25 (21)
函號 176 166

地 六 六

二十一

日本政府圖書

壹岐名勝圖誌巻之二十一

壹岐郡布氣村之部

水田

古新合三拾五町三畝五歩

高六百五石七斗五升弐合

火田

古新合弐拾四町五反六畝拾三歩半

高一百五拾九石四斗七升二合

民戸　一百拾六烟

人数四百三拾八人　男二百四十一人　女一百九十七人

神社　二十四社　内一社寺社

寺堂　十ヶ所　内三所寺

内閣文庫

内 一一〇六八號

全圖

風早郷ニ属して東西（東ハ新庄界二坂ニ限り／西ハ湯浦東本に限る）三十町ハかり南北（南ハ立石
界茶屋本に限り北ハ本宮
界牟田の辻さかひとす）三十町ハかり周圍（乾ハ湯浦砥田奥ハ高田北ハ藤崎
丑ハ赤土田ニ限り本宮界寅ハ
伊久比田頭牧東ハ二ノ坂ニ至り新庄界辰ハ釜蓋田より二塚に至り国分界巳ハ
神彝場頭南ハ茶屋本山田頭未ハ原申酉ハ観世音寺新田本新田封疆
中に至り立石界髪屋搔瀬西ハ東本砥田
田ニいたり湯浦の海辺なり）二里半ハかり山林河海備ハり
て戎薪乏しからす　郡鑑ニ云布氣村南向地廣ハ土地下西南
風當ル大豆粟蕎麦大麦稗中ホ麻木綿辛子下小麦下ゝ
ミし村を布氣と名付なるよしハ此村の宗社の神むかし木落
濵といふ所ニ著せ給ひて今の布氣川まて上りし給ひしく
夜更たりとの給ひしより布氣の名起りとそいひ傳ふ
又今称する支村の名ニ六

水元　木落　上場（ウハバ）

西谷　百合畠（ユリハタケ）　高山（タカヤマ）

庄屋　南向ニ村の眞戌の方ニ建

山神祠　在榎川山　去本社鳥居西六町

石祠　未申向

境内　東西拾七間南北拾三間
周圍五十八間余

當社ハ神社帳ニ榎川山神とのせる処なり

阿弥陀堂　在榎川　堂主長寿院

本尊立像長二尺ニ寸八分

堂　巽向　桁弐間
梁九尺　茅葺

堂地 竪三間半
横四間半

寄畠壱畝

古鰐口ニ有リ銘云 冀奉掛鰐口一宇八幡大菩薩御宝前
明応六天丁巳霜月大吉日願主円通謹白

木落濱 一百間

村の西方の海濱なり村民薪を売出せしに此濱へ下しゝ故に
然いへるなるへし

鬢掻瀬（ヒンカキセ） 二

木落濱に有りて塩満時ハ隠れ塩干時ハ現る此瀬一ハ南北
二尺八寸東西壱尺九寸四分余周匝八尺高壱尺五寸今一ハ東西
二尺二寸三分南北三尺二寸周匝八尺三寸七分高二尺ハ両石共巳ニ

並各相去ること五間三尺三寸余此石ハ昔かし水神社の神此濱に着せ
給ひて石に御腰をかけさせ給ひ御鬢を掻給ひしと云伝ふかく
名つけしといへり

木落里

夷森（ユヒスノ） 木落濱の西綴にあり夷神を祀りし故に名とせり

恵比須大明神

東西八尺壱寸南北壱丈周圍五間壱尺高五尺余の石築地の上に
有り万次祠なし

礒田濱 向ひ西てなあり此所に出しゝの田地あるより名とせしなるへし
此濱八十間

湯浦 未向

濱長六十六間 家人船等の員数ハ湯本浦の
浦居長七十間 部に合せ出せり

此浦湯本浦と對して海を隔てたり

塩釜大明神　在湯浦波戸崎

祭神塩土老翁　例祭九月廿一日

瓦祠　午未向

境内　東西拾壱間南北拾二間
周圍四拾二間

稲荷祠　二所

石祠

此濱を塩屋濱といひてむかし塩濱ありし迹なりとて故に名
とぞ此波戸本宮と布氣との界ありと云

薬師堂　在長尾谷　堂主長壽院

本尊立像長三尺六寸五分

堂　午未向　二間方　瓦葺

堂地　東西三間
南北四間

寄附　壱畝

傳云當堂もと八西といふ所にありし對馬陳の時堂に火を放て相
図とせしを其後長尾谷にあかめんと仏託ありしにより今の地に移せしと

高田　年田　本宮敷あり

山神　在西　壱本社成亥六町斗

石祠　未向

若宮大明神　かし山の口ちかく鎮坐

長壽院
庄屋

石祠　巳午向
境内　東西廿間南北三十間
周囲弐町二十六間
地神　在西屋鋪
石祠　辰巳向
地蔵堂　在堂原
本尊立像長弐尺四寸四分
堂　午向　桁二間　梁九尺
茅葺
堂地　東西三間　南北五間
寄畠弐畝
注連松　本宮八幡宮の一の注連あり
例年八月七日ニ之を引

上場里（ふはゞ）　村の上場なれハかくいへるなるへし
御方屋敷
山神　在川頭　祢桔扃神ト
桔扃　南向
境内　東西廿六間午
南北十八間
壹岐廻云出神社あり昔より御鬮をとられ社ふさハさ　故毎歳祭日
ふつ〳〵以て上をとうむとこゝ今も社あり例年高五尺余
蕪せり
池本山　むかし山の傍ニ池あり放て名とせ
池神　日山ニまし　所せ

石祠　卯辰向

境内　東西十四間南北十四間池其中にあり今ハうつまれり

藤崎　属村北

此所藤多しと風土記にいへるとも今ハなし

牧之丘　属新庄界

むかし牧ありしといひ伝ふ

二之坂山　村の正東に當る

此山東西五町ハかり南北八町ほかり布氣斤山の西坂なり故に

二の坂山と云なり

戸坂原　街道の辺をいふ

村里云此原東西五町ハかり南北も五町ハなり形勢戸板のことし

故にかく名ありと

道元窟　往還東八間半になり　南向にして入六間あり

火焼丘　往還の西

里民云むかし此丘に千把の茅を積て放火の投とせし故此名なり

と又云此丘大方村の中央なるへしと

烏帽子石　上木場道傍になり

北向にして周匝二間壹尺六寸高二尺余里俗本宮八幡宮の乏不

し石といふ

谷上山長壽院　在久保

本尊延命地蔵坐像長壱尺壱寸三分脇士多聞立像長九寸不
動立像長九寸五分

本堂　未向　桁五間半　梁四間　茅葺

廊下　桁二間半　梁九尺　瓦葺

庫裡　桁五間半　梁三間半　瓦葺

門　壱間　瓦葺

境内　五畝二歩

内寺地　竪拾三間　横八間　三畝拾四歩

同山　竪十間　横四間　壱畝拾歩

同墓所　竪八間　横壱間　八歩

寺領畠四畝三歩高四斗

当寺ハ慶長年中今慶和尚開基といへり然れとも永禄田帳に八文
長寿院とのせたる所あり然る時ハ慶長以前より寺ハありしとミゆ
れハ以前ハ別宗にて慶長以後大渕山末寺となりしより今
慶宗基といひしにハあらさるかなほ考へきなり

堀川山福泉庵　在堀川

本尊釈迦座像長四寸五分脇士文殊普賢名立像長四寸

庵　南向　桁二間　梁九尺　茅葺

境内二畝七歩

内寺地　竪五間　横三間

寺領四畝四歩　高四斗

當庵ハ大渕山の末寺ニて天文年中 林公上座の開基する所と
いひ傳へける

若宮祠　在堀川 一名久保谷　去本社乾可五町

祭神大鷦鷯尊也

石祠　巳向

境内　東西廿九間南北二十四間 周圍壱町四十五間

白石山慈眼院　在白石山

本尊十一面観音座像長五寸四分

客殿　巳午向 桁五間午 梁三間　庫裡 同ニ　瓦葺

境内貳反壹畝拾歩

内寺地 竪七間 横五間　壱畝拾五歩

寺領畠四畝拾三歩高四斗

當院ハ天文年中僧盛安上座の開基する所ニして大渕山龍藏
寺の末流なり

白石山

山の南麓に白石あり東西四間南北拾二間周廻三十貳間其石甚
美なり

地神　寅卯向　在白石山

観音堂　在水元

堂主慈眼院

観音尊十一面坐像長壱尺

堂　東向　弐間方　茅葺

堂地　東西三間南北四間半余

寄畠壱畝

射辻山

秀吉公朝鮮征伐の時山兵残り居て女童を却らしける故布氣の辻ニ小屋を立て防き矢を射たるとなり　故ニ射辻小屋畠等の名あり

山神　在射辻

石祠　辰向

境内　東西三十六間南北二十二間
周囲壱町四十壱間

水元川

水元山　山の傍に并あり

水元里　名のことし

水神社　在水元

祭神速秋津日命

内殿　板葺

正殿　未申向　桁弐間　梁九尺　茅葺

廊下　方壱間　瓦葺

拝殿　桁三間　梁二間　茅葺

水神社

若宮　在境内

庚申祠　同

石鳥居　去拜殿坤三十壱間　元禄二年巳八月建立
竪壱丈壱尺五寸横九尺

境内　竪壱町四間横三十四間半
周圍四町四十間半

馬場　竪四十間横三間余

當社元ハ天神と称せしを延宝四年式社改の節水本といふ地名に依て神名式の氷神社なりとせ然しより以来官社とハなれり（去へて當國式社の考地里に違へる社ハりて既に先師なきもなしとへし）　里俗傳云此神村の末申木落濱に着船し給ひて石に御腰をかけさせ給ひ御覧を経給ひ　其石前さ其所より出たり　風早岡に到ましまして休ゝ給ひ此岡鬢搔瀬を（去こと八十六間）渡らせられいでましまして小川の渡りにて夜更たりとの給　故時の人其所を名付てふけ川といふ是より一村の名とれなりしを今布気と書　史より興射辻といふ所に至りまして下津岩根に瑞御殿大数建てましまりしハ　其凡早辻より更川まて一百七十四間余より射辻の影向松まて一百二十間余あり　史より古社の礎まて七間　其地東西廿八間南北八間余　其山東西三十六間南北二十二間周圍一百十三間余今ハ山中に古瓦多し　然るにいちハやくして海上の通船帆を下す敬せすれハ神崇り給故に今の水本山に遷し奉るところを神記に吉野氏をして社務たらしめむとあり　故吉埜氏を以て神主として仕へまつらしむとゝ

後奈良天皇大永七年丁亥八月御具形再興し奉る其銘云

奉再興天満天神御身躰之事　干時大永七年丁亥八月日　本願主右

京助門宮方主各々等七条末流宗久々棄以石して天満天神あるへし

毎歳八月廿四日夜大神樂廿五日祭あり

木鏡石額 延宝四辰年 廻主奉納

明神丘 在水元東

此丘竪壱町廿四間横廿六間周圍三町ハかりも高し今烽火臺を設さして異變の備とし四方の遠望眼前にありて佳景の地なり

明神 壱本社壱町廿五间

祭神 速秋津比賣命

石祠 辰巳向

土器堤（カハラケ）　往還西にあり　水溜二反五畝

石窟　掛水にあり　去街道東廿六間　午未向

此窟入七間間数三間奥間入九尺四寸六分横八尺七寸三分高八尺七
寸余奥の間に石棺あり図次にしるす

九太丘　属国分界

との辺すべて横原廣くつゞけりて春ハ蕨もえ出夏ハ艸
しげく茂りて秋ハことに萩女郎花白きもみだしく咲みだれ
冬ハ枯ふして横落萩の古枝をしのぎて雪深くして四季
ともにその他所に異なる地景あり

此山東西四町あまり南北三町ばかり山の傍なる田中に釜蓋といふ
石あり方三尺五寸周匝あまり二寸高さ二尺五寸　但土上　山をさること巳午
にあたる間其形状釜蓋のごとし故に此名あり

釜蓋田　水田の中に右の石あるによりて名づく

幸神　在幸元

當社ハ神名帳に所載布氣村道祖神と称すなり

牛ヶ城趾　一名生池城　属村巽国分村に近し

續風土記云此城何の代誰人の築なるといふ事詳ならず
唯敵にかこまれ用水にて赤井を集め精米をとりてくれ
ありしと見えし故に牛ヶ城と名附しと云伝ふるのごとし

布氣松原

此城東ハ城山田に堺ひ 外堀より四十間余 外堀より城山田まて 西ハ生池田に限り 外堀より生池田迄五十四間 南ハ辛本に續き 外堀より南城山畠まて四十六間余南まて之 北ハ鍛治給田に臨みて 外堀より鍛治給田まて壱町七間半 四方低く中高く二重堀にして四方に門跡あり

子城東西二十壱間半 南北四十四間の小松山なり 内堀廣さ五間四尺五寸深さ三間余周圍弐町三十八間半 外堀廣さ三間弐寸周圍二町五十間 二丸東方ひきし 凡周圍七町半ハなりすへて今ハ楢山となれり

ナマイケ
生池 城の酉戌にあり

此池近世まてハ三間方ありしといへとも今ハうつまりて名のミ残れり ぬ大松其中にあり 水神祭場なりむかし川童子人を住かりせしとなせしよて生池といふとそ

笹塚窟室 在□ 内に文字石あり 奥に出る

此窟入七間壱尺 間数三間あり 奥の間入壱丈壱尺一寸 横壱丈五寸 天井の高さ壱丈 石柱二ツあり 図にてしるし

亀石 往還三達衢にあり

茶屋本山

古今巡察使の特長途の足をやすめんかため此処に茶店を設く故に此名あり

大石山 街道西にあり

山中に大石あり 俗にやくま石と云 周廻三丈五尺 高壱丈壱尺

艮の方に天ニ向り其形勢魚口のことし里民云此石雨ふらん
とて八黒く空晴なとて八白しと云奇石なり

地神
石祠　在古屋敷　午未向
境内　東西拾壱間南北九間半
周圍三十六間

地神
石祠　在百合草畠　西向
境内　東西四間半南北七間半
周圍拾九間

門社　在門綴
境内　東西六間半南北四間半
周圍二十三間半

山神　在百合艸畠
石祠
境内　東西拾六間南北十一間半
周圍五十二間

百合(ユリ)草畠(ハタケ)坂　東より西ヘ下ること凡六町半ばかり村中第一の坂

百合草畠山
傳云昔高山とゆふ処ニ出者あり我富める事を悦ひ他ニ施をふさき無道貪一なり其頃世中飢饉ありしを幸ひと思ひ飢饉をいのること日久し時ニ人謂て云飢饉をいのるにハ種々の借物を百合に入女ニかつき世宜を祭て其女をのつめ穴の辺りに十二膳の珎味を遣て吏を万まし也埋むへしと教

圖書局文庫

布氣驛

国立公文書館
National Archives of Japan

由山者甚よろこひ教のことくせしに其女の霊なりとなれし其
子孫人にうたひ次第に家貧窮し一日の食もなし或時彦
山山伏来る然れとも布施なし故家内にかくる山伏怒てかへる
さいに一螺を吹異をいひとなり白刃をかさし出山伏をとろ
北逃行を追かけ切殺しぬかゝる先道の者なりせハ天罰を
蒙りかしかぬめを見命を終りしと而彼女の墓といふ今
畠中にあり 東西四尺斗 南北五尺斗 これより出て里の名になれりとそ

高山 布氣川の南なり

東西弐町半はかり南北半町ハかり高九一百間斗故に名と
なれり

地藏堂 在高山

本尊坐像長七寸四分

堂 申酉向 桁二間 梁九尺

寄畠十畝

茅葺

堂主長壽院

高山里

矢保尼祠 门形

石祠 酉戌向

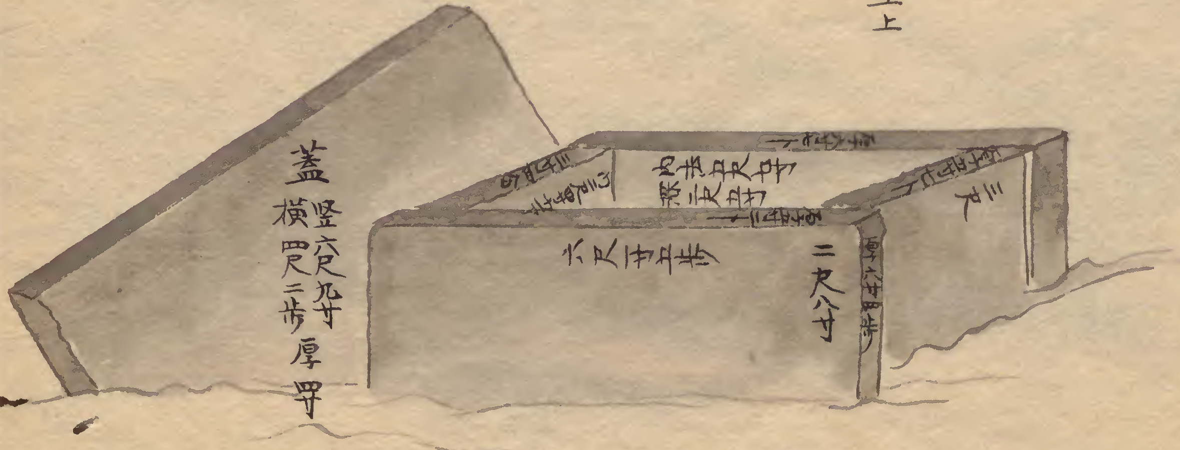
境内方七間手同園二十五間

鳴滝 四合水の落流あり高二丈斗

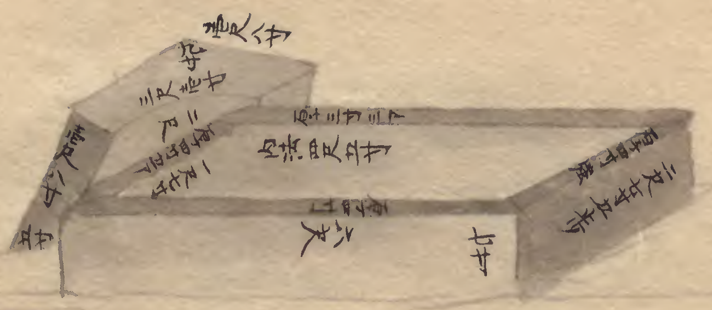
布氣川

亀石
笹塚窟
生池城墟

笹窟
石櫃之圖
文字石
竪四尺九寸五歩 土上
横二尺六寸



杙木窟
石櫃



亀石 竪乙辛七尺七寸横丁癸七尺一寸五歩
周二丈一尺五寸高二尺七寸余
頭寅卯向

源水元の井より出て五十七間未申に流布氣川に至又よ
里吉町四十間南にある後新城田の辺にて綿打川に落る

綿打川
源後川より出て篭久いまゟ川にて竹川を経て湯浦
新田に落入れ八町廿間

地蔵堂 在尾方
本尊座像長八寸二分
堂主慈眼院

堂 南向
桁二間
梁九尺
茅葺

堂地 東西二間
南北二間余

風早岡 一名古ノ岳

此図東ハ源八布気川射辻ニ綴き南ハ谷深く斗百間川を隔てゝ水洗牛田小路神舞田ニて北西ハ木落溪ニ限り滄海ハるかに見て渡りた佳景の地ありこれより南下湯本新田封疆中立石を當村との界あり

山神　在大下

境内　東西六間　南北二間

阿弥陀堂　在村中裏　堂主長壽院

本尊座像長二寸八分

堂　南向　桁八尺　梁三間　萱葺

寄畠壱畝

河神

石祠　在長保山　東向

境内　東西六間　南北二間

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan